

# いちめんのなのはな

令和元年 5月10日(金)  
こ ち すす き まこと  
校 長 ず 木 誠

## 「体育祭の練習が始まりました」

薫風が駆け抜ける運動場に、子供たちの滢刺とした姿や笑顔があふれています。そして、5月25日(土)に控えた体育祭に向けた練習や取り組みが始まりました。

5月9日(木)には、体育委員が主催して石拾い集会が行われました。体育委員が段取りよく、各学年で石を拾う場所が分かりやすいように示したり、道具を事前に準備したりしたので、短時間で効率よく、運動場全体の石を拾うことができました。運動場を整えるだけでなく、子供たちの心に、けがなく練習したり競技したりする意識を高めることもできました。一斉下校後には、職員全員で協力してサッカーゴールの移動や入退場門の設置を行いました。



3年生は初めてのリレーに取り組みます。体育の授業では、そのためのバトンパスの練習を始めました。先生の話に熱心に耳を傾ける姿が印象的でした。自分が力いっぱい走ることに加えて、相手と呼吸を合わせたり、走順やバトンパスの位置などで作戦を立てるために相談したりして、体と共に心も育っていくことを願っています。

集会での挨拶の際に、「できることを増やしましょう」「人の努力が分かる心を育てましょう」と私から呼びかけました。体育祭とそこに向けた日々でのみんなの成長が楽しみです。

## 「夏野菜の苗を植えました・2年生活科」5月9日(木)

2年生が、美合町にある愛知県立農業大学校から講師をお招きして、それぞれが選んで世話してきた、ミニトマト、ピーマン、ナスの苗を学校農園に植えました。脇芽を摘むことなどの世話を教わった子供たちは、次々に質問をし、しっかり答えていただくことができました。子供たちのわくわくも育ちました。農業大学校の皆様、ありがとうございました。





## 「加藤前校長の退任式」 5月8日（水）

加藤嘉一前校長先生の退任式を行いました。六ツ美中部小学校の子供たちとお別れのために時間を作り来校された加藤先生をお見かけすると、運動場で遊んでいた子供たちが駆け寄りました。加藤先生が慕われていたことがよくわかる場面でした。

子供たちの校歌に耳を傾け、プレゼントされた手紙やお花を大切に両腕で抱える加藤先生の姿から、六ツ美中部の子供たちや学区への愛着の深さが伝わりました。

式の中で加藤先生は子供たちに、  
「年下の子を年上の子が大切にする姿、組み立て体操の技ができるまで何度も練習する姿、家でもマラソン大会の練習を頑張る姿など、たくさんの輝く姿をみせてもらい、楽しく過ごすことができました」「ちょっと頑張る姿を必ず誰かが見えてくれます」などのことをお話しくださいました。



加藤先生との思い出やお言葉を胸に、六ツ美中部の子供たちが健やかに育っていくことを願っています。



## 「合唱部の部長」

4月の終わりのことでした。合唱部では部長を選出していました。なんと4人が部長に立候補し、それぞれの思いをしっかりと述べることができました。話を聞いていて、誰が部長になっても立派に役目を果たせると、皆が思ったと感じました。また、責任ある立場を引き受ける意欲に満ちた6年生の姿を頼もしく、そして誇らしいとも思いました。

さて、投票の結果はというと、なんと同数または1票の差でした。そこで、顧問の先生は、「立候補した誰でも部長を務められると思いましたが、投票の結果も差はありませんでした。投票前に言ったように、部長は先生たちで相談して決めます。」と、先生方が責任をもつことを示してくださいました。もちろん子供たちはそれを受け入れました。最後の責任をもつ先生方の態度と、それを素直に受け入れる子供たちがすばらしいと思いました。